



神山まるごと高専

確認（更新確認）申請書

様式第2号の1－①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1－②を用いること。

学校名	神山まると高等専門学校
設置者名	学校法人神山学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難	
			全学 共通 科目	学部等 共通 科目	専門 科目	合計			
	デザイン・エンジニアリング学科	夜・通信	12	12	12	12	7		
		夜・通信							
		夜・通信							
		夜・通信							
(備考)									

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://kamiyama.ac.jp/disclosure/

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	神山まるとと高等専門学校
設置者名	学校法人神山学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

HP上に公開	: https://kamiyama.ac.jp/disclosure/
--------	---

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	品川女子学院 理事長	2024.9.7~2026.9.6	教育事業拡大における計画立案への賛助
非常勤	慶應義塾大学 教授	2024.9.7~2026.9.6	教育事業拡大における計画立案への賛助
非常勤	株式会社 Party クリエイティブ責任者	2024.9.7~2026.9.6	特にデザイン分野の教育事業拡大における計画立案への賛助
非常勤	株式会社 ZOZONEXT 取締役	2024.9.7~2026.9.6	特にテクノロジー分野の教育事業拡大における計画立案への賛助
非常勤	株式会社さくらインターネット代表取締役	2024.9.7~2026.9.6	特にアントレプレナーの教育事業拡大における計画立案への賛助
非常勤	SANU 非常勤取締役及びクリエイティブボード	2024.9.7~2026.9.6	特に入試広報戦略における計画立案への賛助
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	神山まるとと高等専門学校
設置者名	学校法人神山学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 2023 年に設立した本学は未完成学校であるが、シラバスについては設置認可の際に作成し文部科学省に提出している。その中において授業の方法及び内容到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載したシラバスを作成している。以後、継続的な FD 活動の過程で、シラバスの改善について議論しているが、その際に設置認可時に提出したシラバスに逸脱することのないように学科として、個々の授業科目の授業計画を確認し運用している。なお、その当該シラバスについては、本学の WEB サイトで公開している。	
授業計画書の公表方法	https://kamiyama.ac.jp/disclosure/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 本学では、神山まると高等専門学校学業成績の評価並びに進級及び卒業の認定に関する規則を定めており、各学生の学修成果について本規則第 8 条において、個々の成績等評価における基準を定め、各担当教員はこの基準に基づき、あらかじめシラバスにおいて成績評価基準を明記・公表すると共に、個々の成績評価を行っている。並びに進級・卒業判定については、同規則第 10 条において神山まると高等専門学校進級・卒業認定会議において審議することが定められている。	
3. 成績評価において、G P A 等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 本校では、学生が主体的に学習へ取り組み、学修の成果をより明確に把握できるようにするために、GPA (Grade Point Average) 制度を導入している。また、年間 GPA での学年内順位を一定範囲で公開している。 《GPA の計算方法》 $\text{GPA} = (4 \times \text{S の修得単位数}) + (3 \times \text{A の修得単位数}) + (2 \times \text{B の修得単位数}) + (1 \times \text{C の修得単位数})$	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://kamiyama.ac.jp/disclosure/
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

【内容】

神山まると高専では、「モノを作る力で、コトを起こす人」の育成を目的としており、以下に示す能力を身につけ、学則に定める修業年限以上の期間在学し、所定の卒業要件単位を修得した学生に対し、卒業を認定し「準学士（工学）」の称号を授与する。

1.IT 分野におけるインターネットを基盤としたサービスやソフトウェア開発を「モノづくり」と定義し、その実践に必要な情報工学の知識と技能を修得している。

2.プロダクトデザインや UI/UX デザイン等、IT 分野におけるモノづくりに不可欠なデザイン力を有し、製品やサービス開発におけるデザインの重要性を理解している。

3.社会において事業・サービス・枠組み・組織などを改善・変革することを「コトを起こす」と定義し、そのために必要な起業家精神を有している。具体的には、社会のニーズや課題を本質的に捉え、自発的に課題を発見し、情報工学の知識・技能を活用したモノづくりを通じて問題解決を実践する。これらを行う過程でチームワークやリーダーシップを発揮し、社会に新たな価値を創出し、変化をもたらす能力を身につけている。

4.技術者としての教養を備えるとともに、多様な価値観を受容し、高い倫理観に基づいた行動がとれる豊かな人間性を有している。

【実施状況】

卒業の認定方針に示す能力は、教育課程に設定された必修科目および関連する選択科目に具体的に対応付けられており、それらの単位修得をもって各能力の修得を確認する。また、卒業認定は、卒業判定会議において学生の単位修得状況を慎重に検討し、卒業認定方針に規定されたすべての要件を満たす者について適切に認定している。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

<https://kamiyama.ac.jp/guidance/policy/>

様式第2号の4－①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4－②を用いること。

学校名	神山まると高等専門学校
設置者名	学校法人神山学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://kamiyama.ac.jp/disclosure/
収支計算書又は損益計算書	https://kamiyama.ac.jp/disclosure/
財産目録	https://kamiyama.ac.jp/disclosure/
事業報告書	https://kamiyama.ac.jp/disclosure/
監事による監査報告（書）	https://kamiyama.ac.jp/disclosure/

2. 事業計画（任意記載事項）

単年度計画（名称：	対象年度：	）
公表方法：		
中長期計画（名称：	対象年度：	）
公表方法：		

3. 教育活動に係る情報

（1）自己点検・評価の結果

公表方法： https://kamiyama.ac.jp/disclosure/

（2）認証評価の結果（任意記載事項）

公表方法：

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 デザイン・エンジニアリング学科
教育研究上の目的（公表方法： https://kamiyama.ac.jp/disclosure/ ）
本学の学則においては、本学における教育研究上の目的を以下のとおり定めている。 （目的および使命） 第 1 条 神山まるごと高等専門学校（以下「本学」という。）は、教育基本法、学校教育法及び建学の精神に基づき、社会の情勢に左右されることなく自ら課題発見を行い、身に付けた技術力で社会が求めるサービスや製品といった「モノ」を作り出し、アントレプレナーシップを通じてその「モノ」を使って社会に変化を与えられるような事業や産業、新たな取り組みといった「コト」を起こす力を修得した人材の育成を目的とする。 2 本学は、前項の目的を実現するための教育を行い、その成果を広く社会に提供することにより、社会の発展に寄与することを使命とする。
卒業又は修了の認定に関する方針 （公表方法： https://kamiyama.ac.jp/guidance/policy/ ）
（概要）神山まるごと高専では「モノを作る力で、コトを起こす人」を育成するために、次に掲げる人材を養成することを目的としている。 1. IT 分野におけるインターネットを基盤とするサービスやソフトウェア開発を「モノづくり」とし、そのモノづくりに必要な情報工学に関する知識と技能を有している。 2. プロダクトデザインや UI/UX デザインといった、IT 分野におけるモノづくりに求められるデザイン力を有し、魅力ある製品やサービスをつくるうえでデザインの重要性を理解している。 3. 社会における事業やサービス、枠組み、組織といった社会を構成する要素に対して変革や改善を行うことを「コトを起こす」とし、そのコトを起こすために必要な起業家精神を有している。具体的には、社会のニーズや課題を本質的に捉え、自ら社会における課題発見を行い、情報工学の知識・技能を活用して「モノづくり」を行うことで問題解決を実践する中でチームワークやリーダーシップを発揮しながら、社会に変化を起こしていくための新しい価値を生み出す力を有している。 4. 技術者としての教養を身に付けるとともに、多様な価値観を受け入れた上で、高い倫理観に基づいた行動がとれる豊かな人間性を身につけている。 本学では以上の能力を修得し、学則で定める所定の卒業要件単位を取得した学生に対して卒業を認定し「準学士（工学）」と称することを認める。
教育課程の編成及び実施に関する方針 （公表方法： https://kamiyama.ac.jp/guidance/policy/ ）

(概要) 神山まるごと高専では、ディプロマポリシーに掲げた知識・技能の修得、ならびに「モノをつくる力で、コトを起こす人」を育成するために以下の方針に基づき科目編成を行う。

1. インターネットを基盤とするサービスやソフトウェア開発に必要な情報工学に関する知識・技能を身に付ける科目を専門科目の中心として配置する。
2. デザインの基本からはじめ、ソフトウェア分野におけるデザインの知識・技能を中心に、魅力あるサービス・製品を作ることができる科目を配置する。
3. 自ら課題発見を行い、問題解決のためのチームワークやリーダーシップ、失敗から次につなげるレジリエンスといった起業家精神を養う科目を配置するとともに、各演習科目においても課題設定から自らが行ったりチームで取り組むことで、起業家精神を実践的に学ぶこととする。
4. 技術者としての教養をはじめ多様性や倫理観など豊かな人間性を身に付ける人文科学、自然科学、社会科学などの科目を配置する。
5. 社会を知り、学んだ知識と技術を統合し、課題発見・問題解決を実践する科目を配置する。

入 学 者 の 受 入 れ に 関 す る 方 針 （ 公 表 方 法 ：
<https://kamiyama.ac.jp/guidance/policy/> ）

(概要) 神山まるごと高専は、「モノをつくる力」として情報工学を基とするエンジニアリングと社会のニーズや課題を本質的に捉え魅力あるサービスや製品を作ることができるデザインを学習し、起業家精神を学び社会に変化を与えられる「コトを起こす」人材の育成を目的としている。この目的のために、次のとおり入学者受入れの方針を定めている。

1. IT 分野におけるモノづくりに対して興味や関心がある人
2. 多様な価値観を受け入れ、自分の意見を伝えられる人
3. 情報を適切に処理することができる思考力がある人
4. 正解のない問いに対して、独自の解を出せる人
5. 必要な学習を続ける意欲があり、学んだことを活かせる人

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<https://kamiyama.ac.jp/disclosure/>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a.教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
デザイン・エンジニアリング学科	2人	－					2人
	－	1人	3人	6人	5人	0人	15人
	－	人	人	人	人	0人	人
b.教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		6人					6人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法：https://kamiyama.ac.jp/disclosure/					
c.FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a.入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
デザイン・エンジニアリング学科	40人	44人	110%	120人	126人	1.05%	0人	0人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	40人	44人	110%	人	人	%	0人	0人
（備考）現在、3学年まで在籍している。完成年度は2027年度であり、収容定員は現状の3学年までの定員数で記載した。								

b.卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
（主な進学先・就職先）（任意記載事項）				
（備考）現在、3学年まで在籍している。完成年度は2027年度であり、卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数はなし。				

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤ 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

（概要）授業科目、授業の方法および内容については、文部科学省に設置時に認可された授業計画の内容を原則としている。技術的な進歩、授業方法の改善等に伴う、見直しが発生する際には当該授業科目担当のスタッフは電磁的方法により、前年度の 2 月までに所管である学務チームに申請する。文部科学省への変更手続き等が伴わない修正の場合には、学務チームはその妥当性を判断したうえで、可否を決定する。文部科学省への変更手続きが必要な場合で、その変更が適切であると判断した場合には校長の決議を経て、文部科学省への変更手続き完了後、授業計画を変更することとしている。

年間の授業計画は電子化したうえで、本学ウェブサイトで公開している。学生には当年度の授業開始前に電磁的方法をもって共有するとともに、初回授業で担当スタッフから当該授業の当期の実施内容を説明することとしている。

⑥ 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

（ 概 要 ）				
授業科目の成績評価は、シラバスに記載された評価方法に則り、授業の到達目標の達成状況を 100 点満点で評価している。学科会議にて、各学年末の進級判定会議にて当年度の当該学年の単位修得状況を確認している。現状、5 年制の 3 学年まで在籍しており、卒業年度の学生は在籍していない。そのため、卒業判定に関わる手順は策定中であるが、ディプロマポリシーに沿った判定基準を策定する計画である。各学年の課程の修了又は卒業の認定に関しては、神山まるごと高等専門学校学則第 21 条より、学生の平素の成績を評価して行うものとする。また、原級留置・再履修・再修得に関しては、「神山まるごと高等専門学校原級留置・再履修・再修得に関する規程」で定めたことを実施されている。				
学部名	学科名	卒業又は修了に必要な となる単位数	GPA 制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
	デザイン・エンジニアリング学科	167 単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
GPA の活用状況（任意記載事項）		公表方法：		

学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)	公表方法：
----------------------------	-------

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：学び舎：<https://kamiyama.ac.jp/school-life/environment/>
 駐車場等：<https://kamiyama.ac.jp/access/>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考(任意記載事項)
デザイン・エンジニアリング学科		1,920,000 円	230,000 円	80,000 円	
		円	円	円	
		円	円	円	
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a.学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 学生の学修状況については定期的な全体会議や学科会議等で情報共有し、学科と授業担当で成績不振学生や成績優秀学生の指導方針を共有し、適切な支援を行っている。学科会議では、成績不振に対しては学生の学力に応じた支援施策、勉学意欲の高い学生に対しては正課授業より進んだ内容の学習を企画・提供している。また、入学予定者に対するオンボーディングも企画・提供している。学生相談チームでは、学生が教育課程を効果的に遂行できるよう、担当スタッフを中心に学生・保護者からの相談に応じている。合理的配慮の提供も同チームで検討される。
b.進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 進路選択やキャリア形成に必要な情報については学生応援チームが所管しており、Slack を活用し、学生が常時閲覧できるようにインターンシップなどの低学年から参加できる企業主体の活動や各種企業説明連携などの情報を整理し積極的に掲載している。また、パートナーチームと学生応援チームが連携して、スカラーシップパートナー活動(SP)を実施している。SPとは、当校の奨学金基金に各社10億円を出資した11社の国内会社のこと、当校の学生は1年次から、その企業の事業活動等について学ぶことができる。2年目には、企業から派遣される社員と連携して、当該企業に対して新規事業を提案するなど、社会との繋がりを意識した取り組みを継続的に実践している。4年次にはインターンシップも授業に位置付けていたり、進路意識アンケートを実施するなど、進路選択に係る支援に関する取り組みを行っている。本学では、起業家育成も教育目的の1つの軸であることから、企業の経営者などを定期的な招いた講演会や授業などを通じ、学生の起業家精神の育成も継続的に行う等のキャリア教育を行っている。
c.学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 学生の心身の健康等にかかる支援については、学生相談チームを中心に保健室とともに組織的に行われている。加えて、全寮制であることから、寮チームと学生相談チームが合同の会議を定期的に行っている。 日常的な学生の様子は、クラスマネージャーや学生相談チーム担当がスタッフ会議や学科会議等で情報共有し、支援を必要とする学生へ組織的に対応している。また、学生生活相談員(看護師)やスクールカウンセラー(公認心理師・臨床心理士)が学生・保護者や教職員か

らの相談に応じ、学生・保護者に対するメンタル面での支援を提供するとともに、スクールソーシャルワーカー（非常勤）と連携して学生・保護者へ対応する教職員を支援する体制となっている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：<https://kamiyama.ac.jp/>

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A 4とする。